平成 27 年度トピックス調査

「和装・和風雑貨に関する調査」 集計結果概要

平成 28 年 10 月

調査の目的

日本衣料管理協会では、会員大学の協力のもとに衣料管理士（テキスタイルアドバイザー）の養成課程の学生とその父母を対象に「衣料の使用実態調査」を毎年実施しています。同時にその時々に話題性の高いテーマでトピックス調査を実施していますが、今回(平成 27 年度)は東京オリンピック・パラリンピックを 2020 年に控え、また、外国人観光客も年々増える中、注目度の高まっている「和装・和風雑貨」について取り上げました。

今回は調査対象とした女子学生にとって身近な「和」の服飾・雑貨として、成人の日に着る「晴れ着(振袖)」と、夏の定番アイテム「浴衣」、和風雑貨を中心に調査を行いました。若い世代がどのような観点で振袖や浴衣を選び、どのような場所で購入・利用し、どのような場面で着用するのか、また和服に対する意識や関心の度合いを把握することで今後の日本のファッションシーンに向けて「和」の提案をする際、念頭に置くべき問題点などが見えてきます。

和服や和の世界は伝統的で堅苦しいものであるという印象もありますが、一方で洋式・洋風の生活風習になれた世代にとっては新鮮に映り、日本人の DNA を持っているものにとって刺激があれば反応を示すといえます。本調査のデータを消費者動向分析資料、また、学術的資料等として活用していただき、また、若い世代や世界に向けて新しい「和」の世界の提案の一助となれば幸いです。

調査の概要

調査対象者	日本衣料管理協会　会員大学に在籍する衣料管理士養成課程の女子学生 921 名　（平均年齢：20.4 歳）
調査方法	託送調査（会員大学に一括送付、学生に配布・回収、一括返送）
調査期間	平成 27 年（2015 年）12 月～平成 28 年（2016 年）1 月

調査内容

Q1.成人の日の衣装について

（着用衣装、衣装選択時の重視項目、入手方法、入手場所、情報源、購入・レンタル料金）

Q2.浴衣について

（浴衣を着たいと思うか、着たい／着たくない理由、高校入学以降の着用回数、所持枚数、自分で着付けができるか、現在の着用機会の頻度、浴衣の着用シーン、着付け方法、浴衣の入手方法・場所、所持している浴衣の平均価格、購入・入手時の重視項目、情報源、今後購入する場合の予算、浴衣を誰と選ぶか）

Q3.和風雑貨について

（和風雑貨、和装、和の文化、風習などへの興味関心の有無、「日本製」衣料・雑貨への印象、和風雑貨の所持アイテム、所持アイテムの気に入っている箇所）

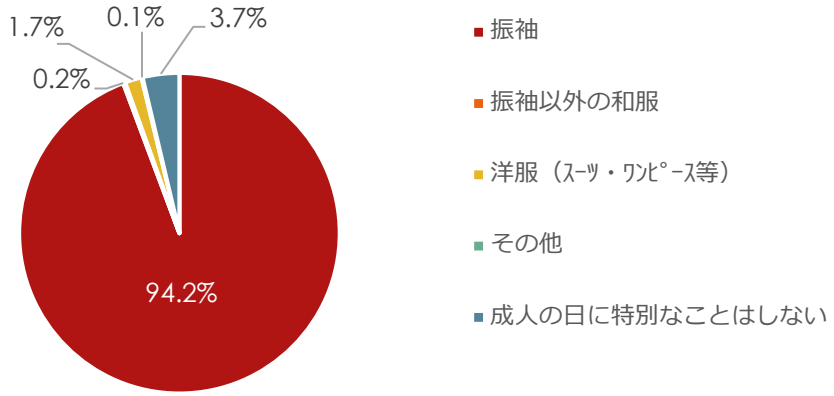
Q4.色・柄について

（ネット上に色および柄・模様の見本（3 グループずつ）を提示し、一番好きなグループを選択）

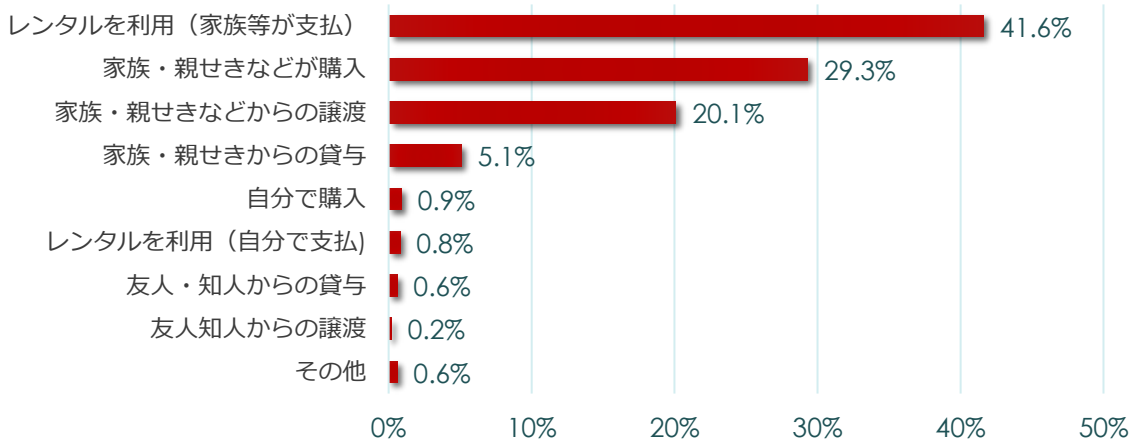
＜本件に関するお問い合わせ先＞　一般社団法人　日本衣料管理協会　調査担当　TEL:03-3437-6416　jasta@mtb.biglobe.ne.jp

【１】成人の日の行事には９割以上が振袖を着用！レンタル４割／購入３割
平均金額はレンタル 15 万円／購入 38 万円

グラフ１　Q.あなたは成人の日の行事（式典、写真撮影など）でどんな衣装を着ましたか。これから成人式を迎える人はどんな衣装を着る予定ですか。（n=921）



グラフ２　Q．成人の日の行事で着用する和服はどのように入手しましたか。または入手する予定ですか。(n=921)



2015 年 12 月～2016 年 1 月にかけて行った本調査では、「成人の日の行事（式典、写真撮影など）でどんな衣装を着ましたか」、という質問に対し 94.2%の女子学生が「振袖を着る（着た）」と答えました。「振袖」以外と答えた人は 1 割にも満たず、「成人の日に特別なことはしない」と答える人は 3.7%でした。入手方法別では、「レンタルを利用(家族等が支払)」が約 4 割、「家族親戚などが購入」と答えた人が約 3 割で、7 割以上が成人の日に衣装を購入またはレンタルをして着用しているようです。費用はそれぞれ購入する（した）人の平均価格が 38 万 2000 円、レンタルする（した）人の平均料金が 15 万 4000 円でした。

表１　成人の日の衣装の購入価格/レンタル料金

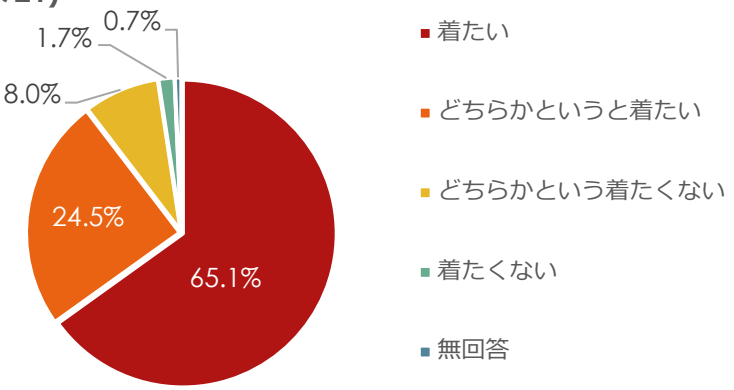
入手方法	平均価格／料金 （1,000 円未満切捨）
購入（n=263）	38 万 2000 円
レンタル（n=369）	15 万 4000 円

<本件に関するお問い合わせ先>　一般社団法人　日本衣料管理協会　調査担当　TEL:03-3437-6416　jasta@mtb.biglobe.ne.jp

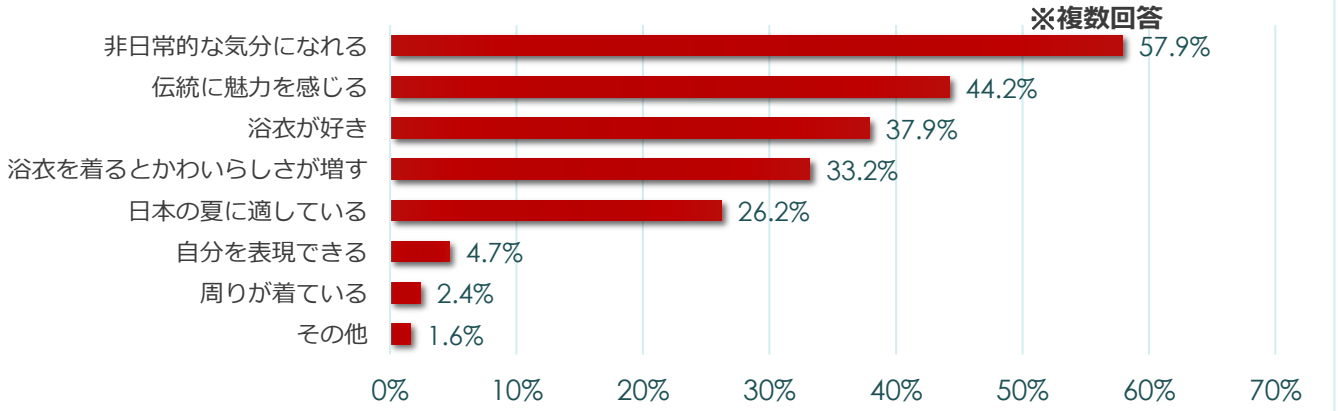
【２】浴衣を着たいと思っている人は約９割！実際は１年に１回程度の着用
浴衣は夏の「非日常」を楽しむためのアイテム／友人より親のアドバイス重視

「あなたは浴衣を着たいと思いますか」という質問に対し、「着たい」が 65.1%、「どちらかというと着たい」が 24.5%いました。合わせると約 9 割の人が浴衣を着たいと答えています。別の質問の「現在浴衣を着る機会はどのくらいありますか」に対しては「1 年に 3 回以上」が 4.1%、「1 年に 1～2 回」が 49.2%、「2～3 年に 1 回」が 8.1%、「ほぼない」が 16.5%、「全くない」が 21.2%でした。「着たい」という気持ちを持っている人が 9 割近くいるにもかかわらず、実際に着用するのは 1 年に 1 回程度、というのが現実のようです。

グラフ３　Q.あなたは浴衣を着たいと思いますか。(n=921)

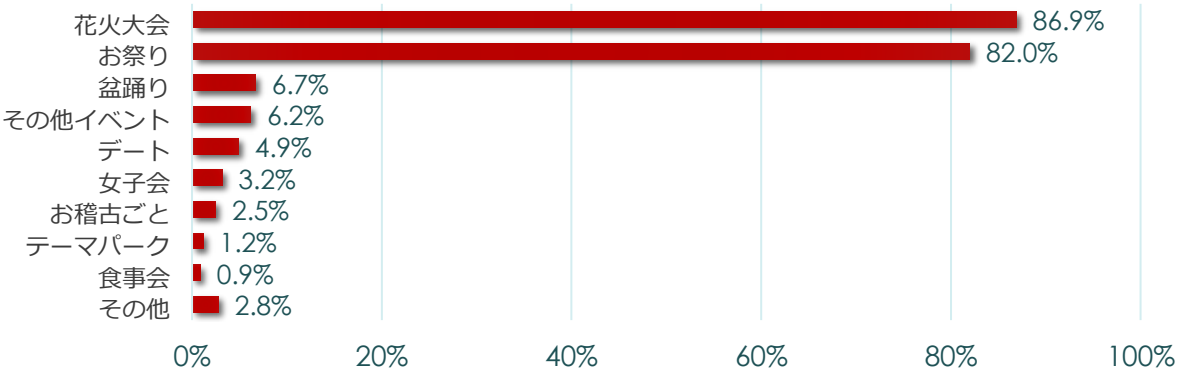


グラフ４　Q.　「着たい」、「どちらかというと着たい」と思う理由は何ですか　(n=826)



浴衣を「着たい」または「どちらかというと着たい」という人にその理由を聞くと、約 6 割の人が「非日常的な気分になれる」と答え、次いで「伝統に魅力を感じる」が 44.2%、「浴衣が好き」が 37.9%、となりました。また、別の設問（グラフ 5）では、「現在 2～3 年に 1 回以上、浴衣を着る」という人に対し、「浴衣をどういうシーンで着用していますか」と質問したところ、「花火大会」が 86.9%、「お祭り」が 82.0%で、他のシーンは 10%以下となりました。多くの人が、花火大会やお祭りといった「日本の夏」のイベント時にその雰囲気を楽しむために浴衣を着用していることがうかがえます。

グラフ5　Q.浴衣をどういうシーンで着用していますか。(n=566)　※複数回答



＜本件に関するお問い合わせ先＞　一般社団法人　日本衣料管理協会　調査担当　TEL:03-3437-6416　jasta@mtb.biglobe.ne.jp

表２　Q.浴衣を購入・入手するときに参考にするものは何ですか。（n=566）※複数回答　上位５件

参考にするもの	%
家族・親せきのアドバイス	46.6
雑誌・書籍	28.6
インターネット	23.7
友人・知人のアドバイス	23.3
直接店舗に訪問	20.1

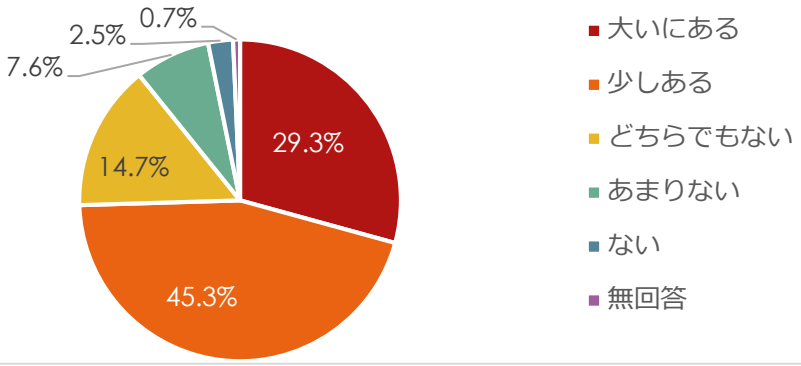
表３　Q.浴衣を購入するとき、誰と一緒に選びますか。（n=566）※複数回答　上位５件

浴衣を一緒に選ぶ人	%
父母・祖父母	57.6
自分だけで選ぶ	41.7
友人・知人	41.5
兄弟・姉妹	14.0
彼氏・彼女	13.1

一方で「浴衣を選ぶときの参考にするものは何ですか？（表２）」という質問では「家族・親せきのアドバイス」、「浴衣を買う時に一緒に選ぶのは誰ですか（表３）」という質問では「父母・祖父母」がそれぞれ１位になりました。これは普段着の「洋服」ではあまり見られない傾向です。

【３】和装や和風への興味・関心は「ある」が７割

グラフ6　Q.和装、和服、和風雑貨、和風装飾品　あるいは和風の文化・芸術・風習などに関して、興味・関心がありますか。(n=921)



「和装、和服、和風雑貨、和風装飾品　あるいは和風の文化・芸術・風習などに関して、興味・関心がありますか」という質問に対しては、約７割の人が「関心がある」と答えています。（グラフ６）和服を身に着ける機会は少なくても、興味・関心を持つ人は多くいるようです。

まとめ

今回の調査では「晴れ着(振袖)」、「浴衣」、「和風雑貨」をとりあげましたが、いずれの結果を見ても女子学生の「和装・和風雑貨」への関心は高いといえるでしょう。しかしながら一方で和装や浴衣に興味があっても、着方が分からない、作法を知らないなどの不安があってなかなか手を出せない人、父母に相談してから購入する人も多く、興味・関心と実際の利用にはまだ乖離があるようです。

これほどの高い興味関心があれば、何かしらかの刺激によって女子学生のファッションシーンでも和装・和風雑貨はもっと顕在化してくるのではないのでしょうか。

調査結果の引用・転載、報告書の購入に関するお問い合わせ先
一般社団法人日本衣料管理協会　調査部会
TEL:03-3437-6416　FAX:03-3437-3194